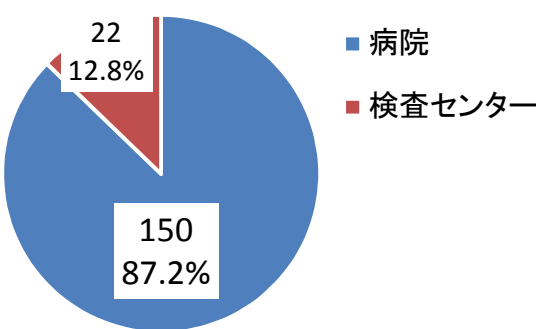
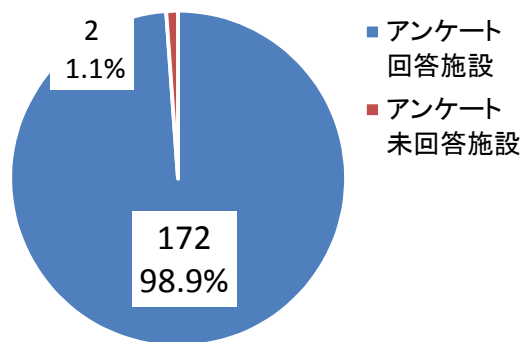
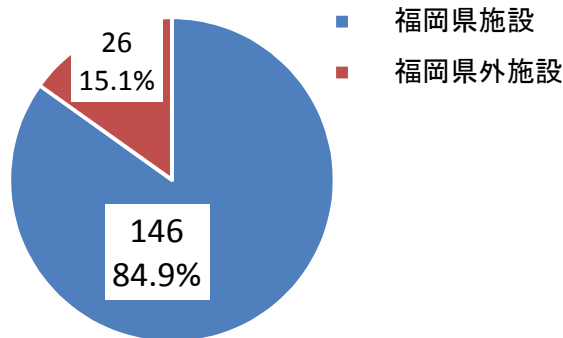


第46回 九州臨床検査精度管理研究会 輸血 アンケート調査報告 (平成29年度)

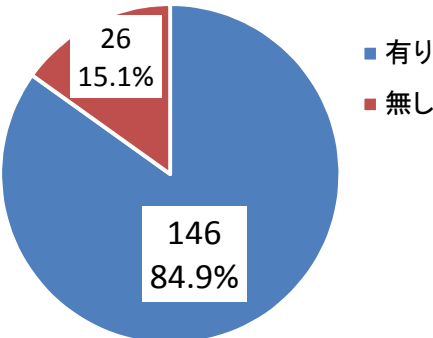
第46回 九州臨床検査精度管理 輸血 アンケート



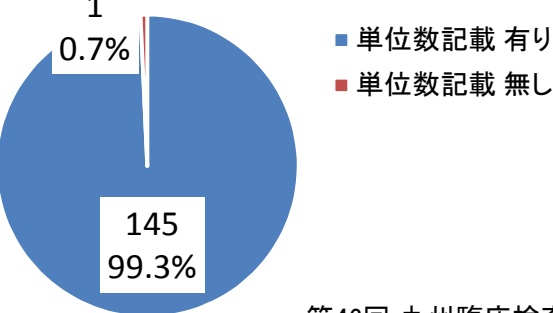
第46回 九州臨床検査精度管理 輸血 アンケート



第46回 九州臨床検査精度管理 輸血 アンケート
RBC輸血の有無(過去1年間)



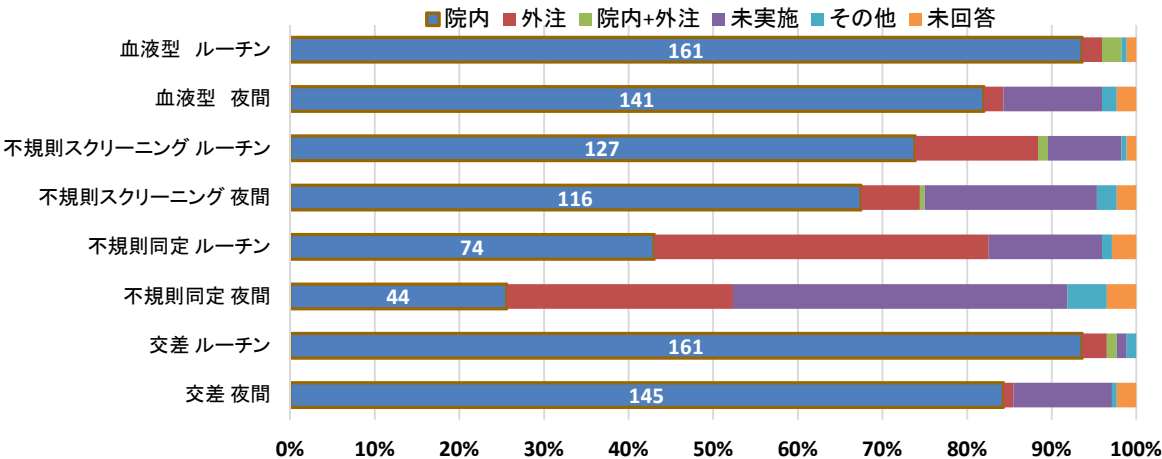
第46回 九州臨床検査精度管理 輸血 アンケート
RBC輸血有りの施設 (n=146)

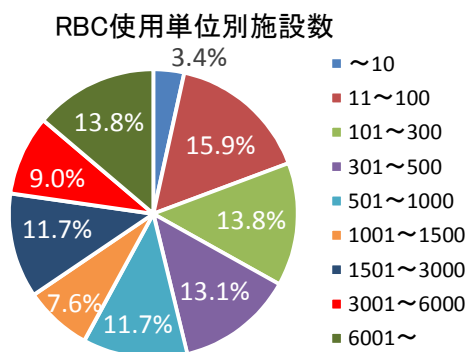
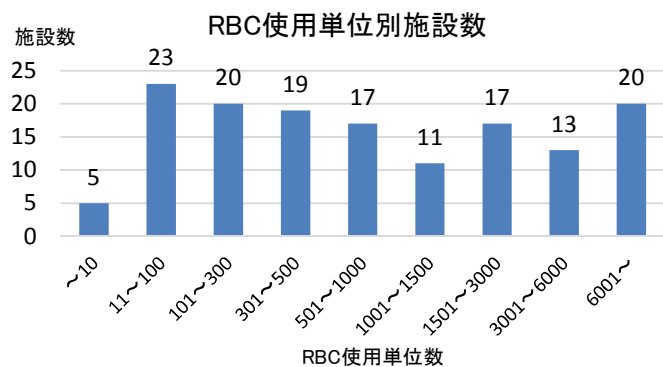
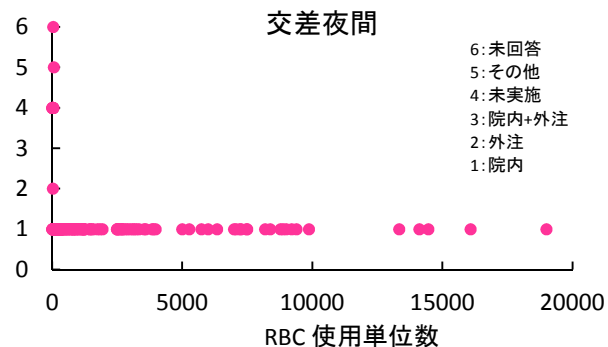
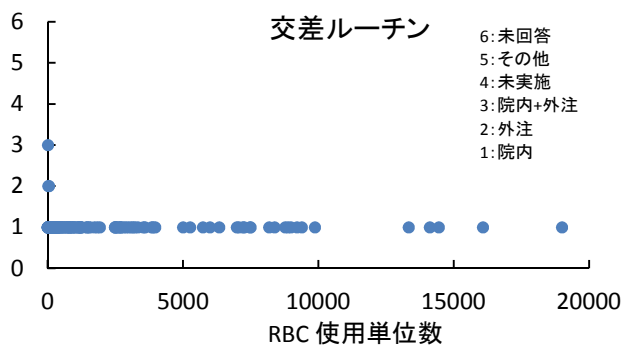
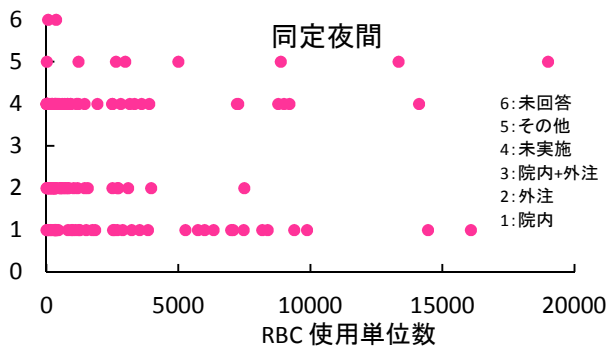
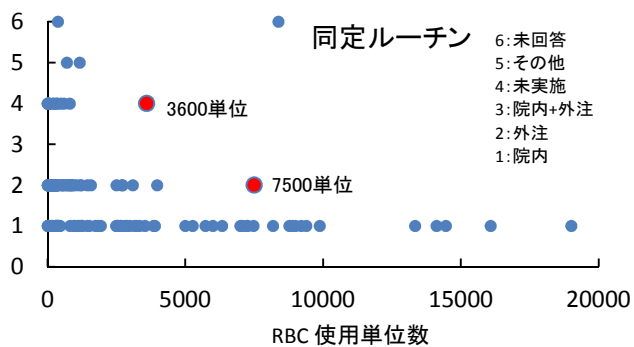
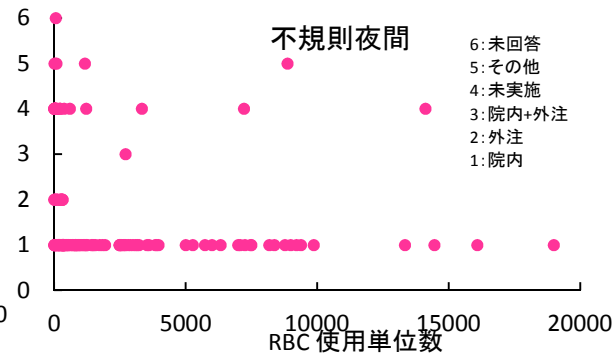
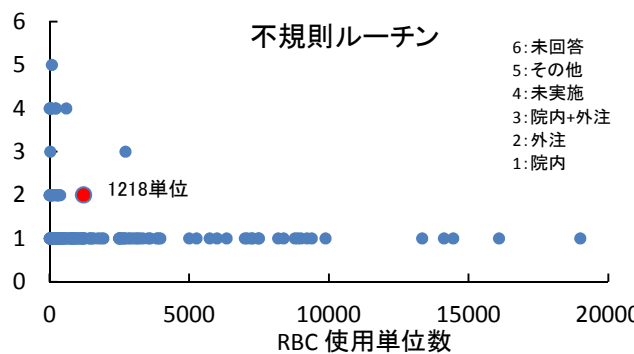
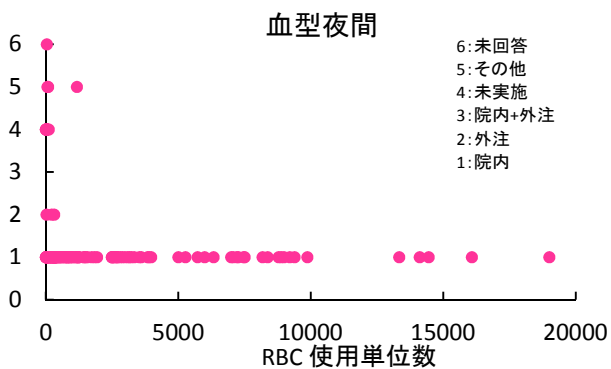
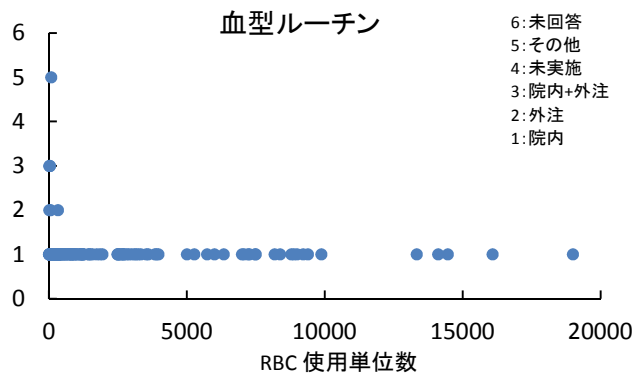


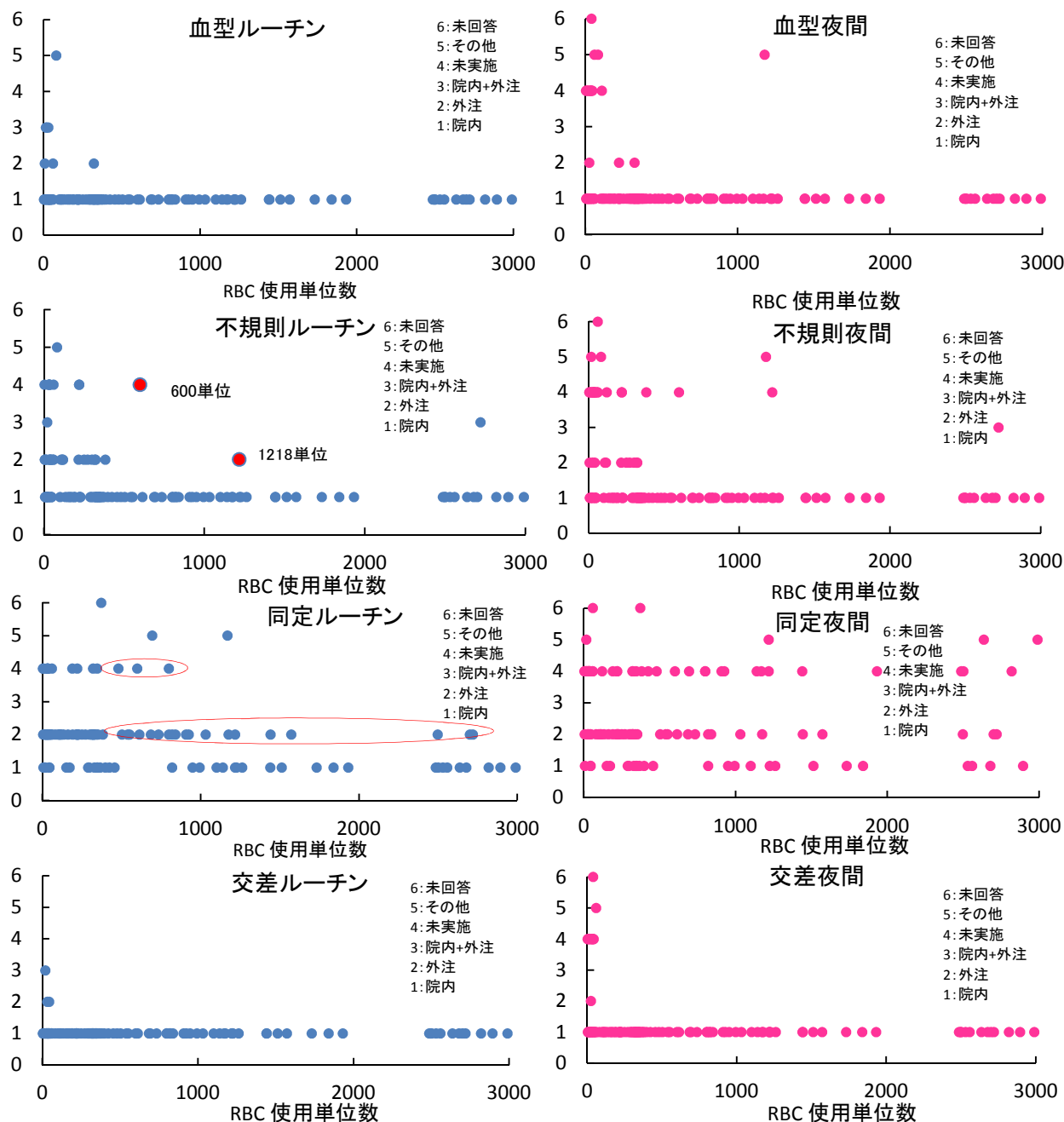
RBC集計

n数	145	施設
全使用単位数	330,862	単位
平均	2,282	単位
最高	19,000	単位
最低	4	単位

第46回 九州臨床検査精度管理 輸血アンケート
検査体制 (n=172)







【気になる回答】

全て外注なのに、院内試験管法にて精度管理の回答を行っている。	1件	昨年も
血液型、Rhが「その他」であったが、精度管理の回答を行っている。	1件	昨年も
血液型が外注であるが、精度管理の回答を行っている。	1件	昨年も
同定が外注であるが、精度管理の回答を行っている。	1件	昨年も
不規則抗体スクリーニング院内だが、精度管理不参加（RBC:480単位使用施設）。	1件	
交差適合試験が院内だが、精度管理不参加。	2件	
同定ルーチンが未回答であった。（RBC:8379単位使用施設）精度管理の回答は行っていた。	1件	

【総評】

- ・アンケートの回収率は 98.9%（174施設中172施設の回答、メーカー1社を除く）であった。
- ・福岡県の施設が、全体の84.9%（172施設中146施設）であった。
- ・参加施設の約90%が、院内で血液型検査と交差適合試験を行っていた。
- ・RBC使用単位数が多くなるほど、院内での検査実施率が高くなっていったが、RBC使用単位数が多いにもかかわらず、同定検査を院内で実施していない施設も見受けられた。
- ・気になる回答では、輸血関連検査が外注に関わらず、試験管法での結果が返却された施設が、3施設見受けられた。詳しく聞き取りをしていないが、アンケートの書き間違い、精度管理のみ院内で実施、外注の結果をそのまま報告したなどが考えられる。

精度管理と同時に、アンケートに回答頂いた施設の方々に、深謝致します。